

障害で機能的に食べられなくなる人、もう1つは、誤嚥性肺炎で「食べてはいけません」という指示が出てしまいい食べられなくなる方です。機能的に食べられなくなる方に対しては専門職のリハビリなどがあるのですが、食べてはいけないという指示が出されると次の手がなくなってしまうです。だから、誤嚥性肺炎にならないければいいのです。誤嚥性肺炎は食べ物などが気管に入ってしまった発症すると思われると思いますが、主原因は体力低下です。体力低下を起こす発端は、「面倒だから出かけない」「疲れるから外に行かない」などの大人の出不精から始まります。一日中テレビばかり見ていると体を動かさないと食事もとらなくなり栄養状態も低下、さらに出不精が続いた先に誤嚥性肺炎が待っているのです。そうなんです。

外に行きたいと思える場を作ってくることが「最期まで口から食べられる街づくり」なのです。例えば、仲間と大きなテレビのある集会室に集まって食べ物、飲み物を調達して大谷翔平を応援するのもいいんです。一人でテレビを見ているのは全く違います。すごく美味しいコーヒーを飲みあう会でもいいんです。実はそういうことなんです。皆さんの周りでもそんなことやってみませんか？いつまでも楽しく元気で自分の街で暮らしたいですね。

目は命

歯医者にとって目は命です。ただ、現代社会がそうですが、パソコンの前につきっきりというのは僕もあま

り変わりません。目に悪いなあとは思いますが。さらに老眼。診療にも影響するようになってまず使用したのは歯科用ルーペ。拡大率も大きくないのですが、10センチ横も見えないのでとても不便なんです。そこで登場させたのがテレビでも宣伝しているルーペ。これが…本当に便利。拡大率は少し低いですが、視野が広く、着け心地も悪くありません。ただ、着けたり外したりはちょっと面倒。若い時みたいにならば裸眼で見えたらいいですね。

